

No. 013

平成27年9月19日

公益社団法人 大阪自然環境保全協会

自然体験イベント事故情報

事故名	スズメバチに刺される	被災者	年齢 50歳台	性別 男
事故状況	発生日時 平成27年8月22日（土）お昼の休憩前			
	生場所 公園緑地・里山・海・川・溪谷・その他（ ）			
	事故状況（何をして、どのように、どうなった） 草刈り作業が一段落して、お昼の休憩前、フィールドの状況確認で炭焼き小屋近くを二人で普通に通った時、いきなり、キロスズメバチに左手中指の根元を指された。			
事故処置	誰が、どのように処置 自分と仲間で、ポイズンリムーバーを使ったが、指の根元であり、上手く使えず。ペリメトリン系の軟膏を塗布、その後、病院で診断、抗炎症性副腎皮質ステロイド剤デルモベート軟膏とヒスタミン系抗アレルギー製剤ザイザル錠を処方。			
	ケガの部位・症状 左中指のつけ根、手の痛み、翌日には腫れと痛痒み、それが3日程続き、その後、指された部分の痒みと固く張れる。			
	推定原因と再発防止策は（分かる範囲で記入下さい） 炭焼き小屋に営巣（後で調べて存在を確認）そこを、草刈り作業で多くの人が何度も入れ替わりに通行していた為、ハチが極度の興奮状態にあったと思われる。 再発防止には、作業前に状況の確認をもっと念入りにして、KYKで情報共有をする。少しの不安要因があれば、そこでの作業は行わない。			
総務部コメント	再発防止に同じ。			